

〈公開講演会〉 ヴェーナ・ダス

精神疾患と正常化／規範化の権力——インド・デリーの事例から

ヴェーナ・ダス教授は、長らくアーサー・クラインマンやマーガレット・ロックらとともに、社会的苦悩について多大な成果を上げてきました。今回はデリーの貧困地区での調査成果の一部を報告します。コメンテータには、現代インド社会研究の第一人者である田辺明生教授と、広島やアウシュヴィッツで調査をしてきたラン・ツヴィゲンバーグ博士にお願いしています。質疑応答の時間も1時間とっていますので、みなさまの積極的な参加をお待ちしています。

なお本講演会は京都大学・人文科学研究所共同研究「トラウマ経験と記憶の組織化をめぐる領域横断的研究」ならびに科学研究費助成事業・基盤研究(B)「地中海から西・南アジア地域の人々に関わる「名誉に基づく暴力」の文化人類学的研究」の成果の一部です。また「社会的苦悩とトラウマの文化人類学的研究」ワークショップの一部です。

講師：ヴェーナ・ダス

コメンテータ：田辺明生 / ラン・ツヴィゲンバーグ

司会：田中雅一 / アンドレア・デ・アントーニ

Veena Das

2016年1月9日(土) 14時30分～17時30分(1時間の討論会を含む)

京都大学人文科学研究所4F 大会議室 〒606-8501 京都市左京区吉田本町

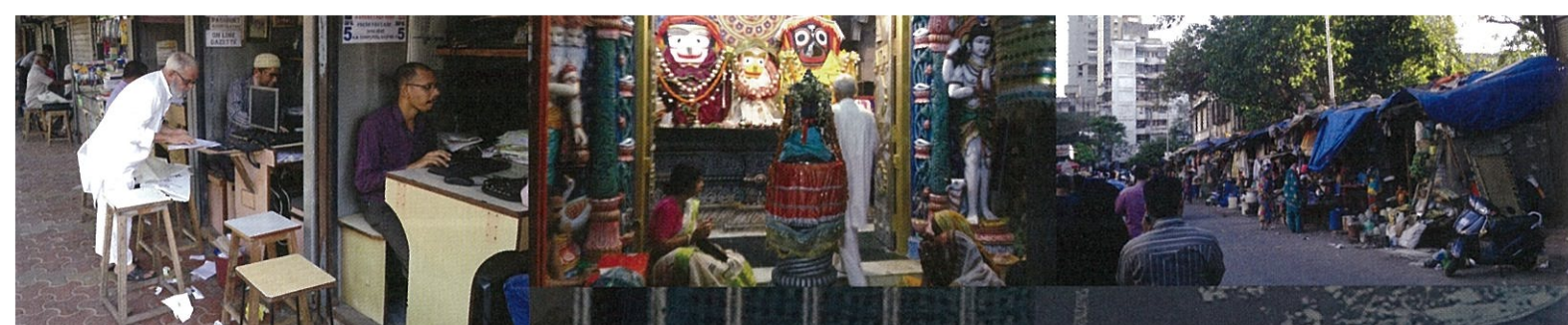
主催：京都大学人文科学研究所(全国共同利用・共同研究拠点「人文学諸領域の複合的共同研究国際拠点」)

お問い合わせ：京都大学人文科学研究所 総務掛 TEL: 075-753-6902

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp> e-mail: annai@zinbun.kyoto-u.ac.jp

予約不要・無料





『異常者たち』についてのコレージュ・ド・フランスの講義(1974-75)の中で、ミシェル・フーコーは、主権権力とも規律=訓練の権力とも異なる権力の様式として、正常化/規範化の権力という概念を提案している。私は長年、都市貧民を対象に、デリード民族誌的研究を行ってきた。そこで集めた精神疾患の事例をいくつか紹介し、検討することでフーコーによる「規範」そのものの概念を問い質したい。カンギレムにちなんで私が病理学的規範性と呼ぶ状況に身を置く人々の視点から、病理学的規範性の「正常化/規範化」ゆえに、権力-抵抗という対概念を攪乱する可能性を提起したい。この攪乱は、抵抗という概念に含まれるロマンチックな要素に訴えることなく実現可能となるはずである。



Veena Das (ヴィーナ・ダス)

ジョンズ・ホプキンス大学教授

専門…文化人類学、暴力、ジェンダー研究
 著書…*Affliction: Health, Disease, Poverty / Life and Words: Violence and the Descent into the Ordinary / Critical Events: An Anthropological Perspective on Contemporary India / Mirrors of Violence: Communities, Riots and Survivors in South Asia / Structure and Cognition: Aspects of Hindu Caste and Ritual* など多数。

日本語では共著に『他者の苦しみへの責任—ソーシャル・サファリングを知る』(みすず書房)や『アジアの環境・文明・人間』(法蔵館)がある。



田辺明生 (たなべ・あきお)

京都大学大学院・アジア・アフリカ地域研究研究科・教授

専門…文化人類学・南アジア地域研究
 著書…『カーストと平等性—インド社会の歴史人類学』



Ran Zwigenberg

(ラン・ツヴィゲンバーグ)

ペンシルバニア州立大学・助教

専門…日本近・現代史、戦争の記憶
 著書…*Hiroshima: The Origins of Global Memory Culture*

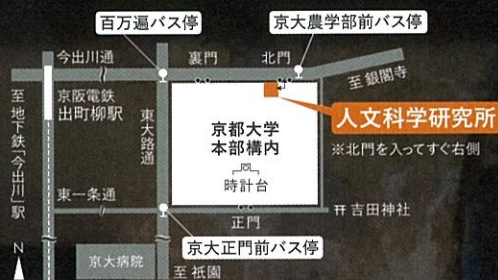


田中雅一 (たなか・まさかず)

京都大学人文科学研究所教授

専門…文化人類学(南アジア)、ジェンダー・セクシュアリティ研究
 著書…『供犠世界の変貌—南アジアの歴史人類学』、(編著)『暴力の文化人類学』、(編著)『軍隊の文化人類学』

Veena Das



- 市バス 17, 203系統「京大農学部前」下車徒歩1分
31, 201, 206系統「百万遍」下車東へ徒歩5分
- 京阪電車「出町柳」下車東へ徒歩15分 京都大学 北門入ってすぐ右
- *駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。



Andrea de Antoni

(アンドレア・デ・アントーニ)

立命館大学准教授

専門…宗教人類学 日本研究
 著書…『死者へ接続するツアー—現代京都におけるダークツーリズムの再考』『観光学評論』1巻1号など。

